第40回 TTCテニス指導者のためのスポーツ科学セミナー

ゲームベース指導と長期的発達ロードマップ

～ゲームの本質の理解と遊びの科学で育む、自ら考え行動するプレーヤー育成～

文部科学大臣認定事業　日本スポーツ協会　日本テニス協会　日本プロテニス協会　公認指導者講習会

テニス選手の育成において、技術の習得だけでなく「ゲームの本質を理解し、自ら判断・決断してプレーする力」を育むことが極めて重要です。ITF（国際テニス連盟）が主導した Tennis 10s の導入により、コートサイズ・ボール・ラケットといった物理的環境（ハードウェア）の最適化が進みました。

しかし、用具やコートが変わっても、指導法や心理的アプローチが従来の「技術指導型・整列型」のままであっては、子どもたちの可能性を十分に引き出すことはできません。

本セミナーでは、オーストリアテニス協会のジュニア育成プログラム「Kidstennis Evolution」をはじめ、欧州で高い評価を受けるジュニアテニス教育専門機関「tennis4kids」の創設者である Michael Ebert（マイケル・エバート）氏 を講師にお迎えし、児童期におけるテニス指導で大切なポイントを学びます。

右記の内容を反映した

実技を午後に行います

① テニスの定義と「ゲーム」としての本質
② 打球力（Sending）と状況評価力（Receiving）
③ PAS ファクターとボールコントロール
④ 戦術的意図・意思決定と創造性の育成
⑤ 10&Under ルール改定とキッズテニスの進化
⑥ 身体発達（身長・成長率）と用具の最適化
⑦ 指導法の刷新：整列型からゲームベース型へ
⑧ ハイデルベルク運動学校の 4 つの指導原則
⑨ 暗黙的学習の重要性と指示過多の弊害

●日　程　：2026年11月 9日（月） 9:30～17:00（9:00 より受付開始）

●会　場　：テニス＆バドミントンスクール・ノア 大阪阿波座校 （大阪市西区立売堀6丁目7）
https://noah-awaza.com/access/

●共　催　：一般社団法人関西テニス協会 / 一般社団法人ハイパフォーマンステニス研究所
公益財団法人吉田記念テニス研修センター

●公　認　：公益財団法人日本テニス協会（研修ポイント2）
※本年度より S 級エリートコーチライセンスの更新ポイントも付与となりました
公益社団法人日本プロテニス協会 （研修ポイント2）

●後　援　：公益社団法人日本テニス事業協会

●講　師　：Michael Ebert 氏　※プロフィールについては次頁をご参照ください

●参加費用　：1 日 8,000 円 （昼食は、各自ご準備ください）
※ 当日お支払いください（申し込み後のキャンセルはお支払い頂きます）
※ 学生は半額　ただし、当日学生証の提示が必須となります

●持ち物　：今回のセミナーは、講義とオンコートで行います

●定　員　：60 名（定員になり次第締め切りとさせていただきます）

●申込方法 ： 以下の URL 又は右記の QR コードより申し込みをお願いします

https://forms.gle/k9669eT5z5AM6RUx5

●申込締切 ：2026年10月31日(土)までに申し込みを完了してください。

●お問合せ ：(一社)関西テニス協会 TTC スポーツ科学セミナー係 メール:hatayama@shatai.ac.jp

●その他 ＊研修ポイントを申請される方は研修実績カードをご用意ください。

＊本申込書に記載いただきます個人情報につきましては、確認及び研修会に係わる諸連絡に使用いたしますとともに掲載することがあります。尚、その他の個人情報につきましては本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません。

講師プロフィール ： Michael Ebert 氏

オーストリア出身。スポーツ科学・心理学修士(MSc, 専門:スポーツ心理学・メンタルコーチング) オーストリアテニス協会(ÖTV)のジュニア育成プログラム「Kidstennis Evolution」をはじめ、子どもから若手選手までの育成システム構築に長年携わる。ジュニアテニス教育専門の指導・研究機関「tennis4kids」の創設者・代表。ITF(国際テニス連盟)が推進する「Play and Stay」や 10 歳以下のキッズテニス規定(Play+Stay / Play Tennis)の理論をさらに進化させ、身体発達や用具(コート・ボール・ラケット)の最適化(ハードウェア)と、指導法や心理的アプローチ(ソフトウェア)を融合させた「Kidstennis ABC」を展開。

「Game-Based Approach(ゲームを中心とした指導法)」や、選手の戦術的意図・意思決定・自己分析力を育むスポーツ心理学に基づいた指導法を提唱し、欧州を中心に世界各地の指導者講習会やカンファレンスで精力的に講演を行っている。